



にじいろエイドは各種催しを毎月開催。次回は9月20日(金)です！

生地から作る本格的なピザ！ 親子でかんたんピザを作ろう

8月3日(土)、菓子工房＆コーヒー ののの木で市女性センター主催の親子ピザ作り体験が開催され、7組14人が参加しました。ののの木のスタッフに教わりながら、まずは生地の材料を混ぜ、こねて丸めて発酵させます。発酵中は、オリジナルトートバッグを作りながら今か今かと仕上がりを待ちました。その後、生地を伸ばして成形し、野菜やチーズをトッピングしてオーブンへ。ピザが焼き上がるとすぐに実食しました。参加者は「自分で作るとおいしい！」とうれしそうに味わっていました。

プロのメイク術とプロの撮影

きれいになろう会 ～一瞬も一生も美しく～

7月30日(火)、能登半島地震で被災した人など向けににぎわいの里ののいち カミーノで「きれいになろう会」が開催され、14人が参加しました。これは、市民活動団体「にじいろエイド」が企画したものです。まずは資生堂ジャパン(株)のスタッフ6人が、化粧水の塗り方から眉やチークまでメイクの仕方をさまざまな健康知識とともに伝授。メイク後は、プロカメラマン・塚本茂樹氏が一人一人を撮影し、その場でプリントして手渡しました。参加者は「来てよかった！」と笑顔で話していました。



猫形やハート形など、思い思いの形のピザが完成！



選挙について紙芝居で学び、模擬投票を行いました。

「せんきょ」って何だ？

選挙啓発紙芝居「とうひょうにいいこう」の披露

市選挙管理委員会と市明るい選挙推進協議会が、親子連れ投票の推進などを目的に、(株)絹川商事や市立保育園協力のもと園児向け紙芝居を制作しました。その披露会が8月8日(木)に押野保育園で行われ、保育士志望の野々市明倫高校生6人が年長児26人に読み聞かせをしました。その後園児たちは翌日の遊びを決める模擬投票を行い、遊びは「ころがしドッジボール」に決定。「ルールを守って遊びましょう」という先生の声掛けに園児たちは「は～い！」と元気良く答えていました。

被爆から79年。戦争とは、平和とは 原爆パネル展 ～平和と向き合う夏～

学びの杜ののいち カレードで8月15日(木)から20日(火)まで「原爆パネル展」が開催されました。これは平和意識の高揚を図るため毎年市が実施しているもので、被爆者が描いた原爆の絵や「原爆と人間展」を題目としたパネルが展示されました。このほか、「平和の旅」事業において広島市で開催された平和記念式典に参列した中学生の感想文なども掲載。来場者からは、「悲惨な戦争をなくし、たった一つの地球を大切にしなければ」などの声が聞かれました。



「平和の旅」に参加した中学生の感想文の一部は7ページに掲載。

まちの話題 Focus

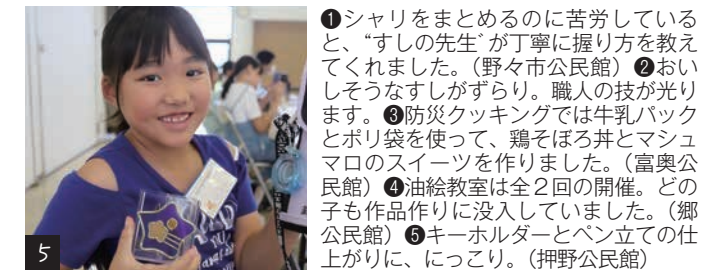
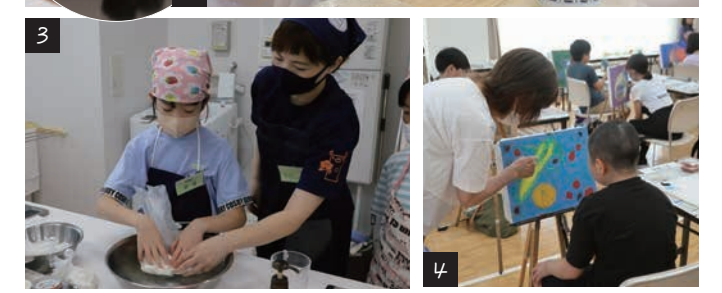
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

夏休みにチャレンジ！

学びのサポーターとつくる夏休み体験

市内の各地区公民館において、7月24日(火)から8月24日(土)まで「学びのサポーターとつくる夏休み体験」が行われました。このイベントは、豊富な知識や経験、技能を持った地域の人が先生となって市内の小学生にさまざまな体験を提供するもので、期間中に合計10の教室が開かれました。

野々市公民館では「すし追」店主の森栄太郎氏のもとでにぎりずしと巻きずし作り、富奥公民館では環境問題をテーマに市消防団第5分団の皆さんによる防災クッキング、郷公民館では油絵教室、押野公民館では「お気に入りを作ろう！」をテーマにキーホルダーとペン立て作りが行われました。参加した小学生たちは、学校ではなかなかできない体験に真剣に取り組んでいました。



①シャリをまとめるのに苦労していると、「すしの先生」が丁寧に握り方を教えてくださいました。(野々市公民館) ②おいしそうなすしがずらり。職人の技が光ります。③防災クッキングでは牛乳パックとポリ袋を使って、鶏そぼろ丼とマシュマロのスイーツを作りました。(富奥公民館) ④油絵教室は全2回の開催。どの子も作品作りに没入していました。(郷公民館) ⑤キーホルダーとペン立ての仕上がり。にっこり。(押野公民館)



フォルテは改修のため現在休館中。令和7年4月再開予定です。

ロビーに響く豊かなハーモニー フォルテロビーコンサート

文化会館フォルテのエントランスロビーには、令和3年に寄贈されたアップライトピアノが「フォルテのフリーピアノ」として設置されています。7月19日(金)、そのピアノを使ったコンサートが開催されました。ピアノを寄贈した辰巳千代子氏がピアニストを務め、清水恭宏氏のクラシックギターと共に、それぞれのソロ演奏や二重奏など計12曲を披露。陽気な曲から優雅な調べまでさまざまな音色がロビーに響き、約80人の来場者はゆったりとした午後のひとときを過ごしました。

甘美な音色に酔いしれて サクソフォンのゆうべ

郷土資料館 NoNo で、日本酒「猩々^{しょうじゅう}」の新作梅狸々とホテル金沢特製の弁当を味わいながら、古民家の雰囲気と生演奏を楽しむイベントが7月20日(土)に開催されました。作田聖美氏(野々市市出身・サンフランシスコ在住)のサクソと小堀香奈氏のキーボードによる、クラシックからポップスまでの多彩な演奏が館内に響き渡りました。海外での経験やアクシデントなどの秘話も交えながら約1時間半、定員を上回る39人の来場者は至福の時間を堪能しました。



NoNoのカフェでは手打ちそばやスイーツが食べられます。